

## 地域国際化連絡会議（九州ブロック）への参加（報告）

平成21年5月26日  
地方連携推進室

平成21年5月26日、総務省主催の地域国際化連絡会議（九州ブロック）が熊本県で開催されました。総務省、外務省、CLAIR、九州ブロック9県が参加し、それぞれの国際施策や新型インフルエンザへの対応状況について意見交換等が行われました。

以下、会議の中であった外務省への質問に対する回答を御紹介します。

（問） 教員の資格や経験のある JET 参加者をもっと多く採用していただきたい。また、小学校で指導にあたる ALT には、以下のような人材を確保していただきたい。

- ①積極的にコミュニケーションを図ろうとする人材
- ②児童に対して日本語を使うよりも身振りや手振り、具体物などを示したりして何とか伝えたり、相手の言うことを理解しようとする人材
- ③自国の文化や慣習等への理解とともに、広く外国の文化や習慣に関する知見のある人材
- ④授業における打合せにおいて、ある程度日本語で意思の疎通ができる人材

（答） 在外公館での選考の際、日本語能力と並んで、教員資格や教員経験を持つ方を特に評価しているとともに、面接選考においても教育経験者等を面接官に含め、教育的見地からも選考を行っています。国内の受入機関からの要望も反映して、JET 参加者の多い在外公館では来日前研修として日本語によるコミュニケーション研修を実施しています。教育に携わることが相応しい、質の高い JET を選出するよう引き続き努力していきます。

（問） 一時帰国中の大使や総領事等の地方訪問に当たっては、できるだけ余裕を持って日程等を御連絡いただきたい。

（答） 大使・総領事等の地方訪問について、日頃から各自治体の皆様に御協力を頂きましてありがとうございます。訪問のアレンジについては、各自治体の負担にならないよう前広に日程調整を行うよう努めているところですが、大使・総領事等の帰国日程が直前にならないと確定しないこともあり、皆様には御負担をお掛けしていると承知しています。当省といたしましても、皆様からの要望等を踏まえた上で、無理のない範囲で実施していきたいと考えていますので、引き続き御協力をお願いします。